

## 令和元年度 第1回美浜区支え合いのまち推進協議会 議事録

1 日 時：令和元年8月20日（火）午後3時00分～午後4時45分

2 会 場：美浜保健福祉センター 4階 大会議室

3 出席者：

### 【委員】

池田副委員長、相原委員、伊藤委員、臼田委員、金澤委員、久保田委員、  
倉又委員、小谷委員、鈴木（重）委員、鈴木（俊）委員、田中委員、外山委員、  
中村委員、成田委員、半田委員、東村委員、平野委員、別所委員、三山委員、  
森委員、

※25人中20人の委員が出席

### 【事務局】

美浜区：齋藤保健福祉センター所長

美浜区高齢障害支援課：山田高齢障害支援課課長補佐、三橋主査、石橋主任主事、

千葉市社会福祉協議会美浜区事務所：吉田所長

美浜区健康課：山根課長

美浜区地域振興課くらし安心室：工藤室長

美浜区地域振興課地域づくり支援室：濱田主査

保健福祉局地域福祉課：小椋主任主事

※傍聴人 9人

## 4 会議の概要

### (1) 議題

- ・美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）の実施状況について  
事務局が、資料1「美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）  
重点項目一覧」により、平成30年度までの進捗状況を基に一部修正した計画内容を  
説明した。委員による協議の結果、承認された。

## 5 会議経過

### (1) 開 会

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 山田） 定刻となりましたので、始めさせていただきます。

皆様方には、ご多忙の中、またお暑い中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、高齢障害支援課の山田と申します。

どうぞよろしく願いいたします。

それでは、「令和元年度第1回美浜区支え合いのまち推進協議会」を開催いたします。

始めに、千葉市情報公開条例の規定により、本協議会の会議は公開となり、議事録は公表することとなっておりますので、ご承知ください。

なお、傍聴人には、皆様にお配りした傍聴要領を順守していただきますよう、お願いいたします。

本日は、長岡委員長他4名の委員から、ご都合により欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

それでは、開会にあたりまして、池田副委員長より、ご挨拶をお願いいたします。

○池田副委員長　ただいま、ご紹介をいただきました、副委員長の池田でございます。本日は、長岡委員長が所用のため欠席となっておりますので、長岡委員長に代わりまして、開会のご挨拶を申し上げます。

連日の猛暑の中、またご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。

さて、本日は、議題として、美浜区支え合いのまち推進計画第4期計画の実施状況について、また、事例紹介として「稲三サポートの会」の方に稲毛海岸三丁目団地における地域支え合い活動の取り組みをご説明いただきたいと思います。

限られた時間の中で 実施状況・事例紹介、そして報告とございますが、活発な議論や意見交換を期待しております。

結びに、まだまだ暑さが続く予報となっておりますので、ご自愛いただきたく、簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。

○事務局（高齢障害支援課課長補佐 山田）　ありがとうございます。

ここで、新たに委員に就任された方をご紹介します。

美浜区町内自治会連絡協議会 真砂中学校区 久保田委員でございます。

本日はご都合のため、欠席されておりますが、美浜区町内自治会連絡協議会 幸町第二中学校区 小原委員でございます。

改めまして、よろしくをお願いいたします。

続きまして、昨年度まで、生活支援コーディネーターの岩橋様に委員をお願いしておりましたが、今年度の生活支援コーディネートの業務は、本協議会事務局の社協美浜区事務所が受託したことをこの場を借りてご報告させていただきます。以上でございます。

先程ご報告いたしました、長岡委員長は本日も欠席でございます。本協議会設置要綱第5条第4項により、副委員長が職務を代理することになっておりますので、池田副委員長に議事進行をお願いいたします。

○小谷委員　議事に入る前にちょっといいですか。委員名簿の9番の小谷ですが、「磯辺第一中学校区」と書いてあるのですが、磯辺には今「磯辺第一中学校」や「磯辺第二中学校」はなく、統合して「磯辺中学校」となっていますよね。次からは「第一」をカットしてください。間違いです。

○事務局（美浜保健福祉センター所長 齋藤）　大変申し訳ありませんでした。訂正いたします。

○池田副委員長　よろしいですか。それでは、次第に従いまして議事を進めさせていただきますが、時間も限られておりますので、委員の皆さんのご協力をお願いいたします。

議題「第4期美浜区支え合いのまち推進計画の実施状況」について、説明をお願い

します。

○事務局（社会福祉協議会美浜区事務所長 吉田） 社会福祉協議会美浜区事務所、吉田です。

「議題 美浜区支え合いのまち推進計画の実施状況について」、私の方から説明させていただきます。

失礼して、着座にて、説明させていただきます。

資料は、A 3判の横サイズで、右側上部に資料1と記載があります「美浜区支え合いのまち推進計画 第4期計画」『重点取組項目一覧』。こちらの資料は、各地区部会エリアにおいて選定いただいた取組項目を一覧にまとめた資料となっています。

もう1種類、今ご覧いただいた資料1の元原稿となります、A 4判の縦サイズ、右側に資料1ー（1） 稲毛海岸地区部会エリアから始まり、資料1ー（30） 幕張西地区部会エリアまで、地区部会エリアごとの「第4期美浜区支え合いのまち推進計画重点取組項目 管理票」です。

A 4判の縦サイズの資料1ー（1）から資料1ー（30）につきましては、参考として、ご覧いただければと存じます。

実施状況のヒアリングにあたっては、地域での活動や会合が多く行われている中、お時間をとっていただき誠にありがとうございました。

それでは説明させていただきますが、時間の都合上、A 3版の資料1「美浜区支え合いのまち推進計画第4期計画」により説明させていただきます。

今回の各地区部会エリアにおける実施状況でございますが、計画への取組みの2年目を迎え、1ページ 事業番号5の稲毛海岸地区部会エリアの【見守りネットワークの構築】と3ページ 事業番号11の幕張西地区部会エリアの【見守り活動の推進】と4ページ 事業番号17の磯辺地区部会エリアの【磯辺地区支え合い活動の検討・推進】においては、3地区部会エリアともに自治会単位での活動開始を目指し、年度目標に向け、順調に取組んで頂いていることを先にご報告とさせていただき、今回、読みあげさせていただく項目につきましては「今年度、取組みを計画していた内容について、変更がある内容」や「今年度から新たに付け加えられた取組み」、そして「来年度に新規に取組むために、今年度から作業を進める内容」について報告させていただきますので、よろしくお願いたします。

最初に、資料1 1ページ 事業番号3 幸町一丁目地区部会エリアです。

取組項目（1）顔の見えるご近所づきあいの構築、取組内容として【地域資源を活用した地域交流の促進】でございますが、昨年度から継続し、コミュニティ委員会や安心サポートの会との連携を図り地域交流の促進に努めますが、来年度からの新規事業として「地域支え合い型通所支援事業」の開設準備会を設立し、現関係団体のみならず企業（薬品販売会社）等の協力を得ながら「より多くの住民の交流の場の拡大を目指します。

次に、2ページ 事業番号7 幸町2丁目地区部会エリアです。

取組項目（3）“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築、取組内容として【地域ニーズ等の把握】でございますが、昨年度に2丁目連携会議のアンケート

トの結果、外出に不安のある住民に対し、階段昇降機を利用した外出支援プロジェクトが発足いたしました。アンケートの回答の中に“ゴミ出し”や“生活援助”等のニーズがあることも分かり、地域での「支え合い活動」の早急な対応が求められ、来年度からの活動を目指し「支え合い実行委員会」を発足いたしました。幸町2丁目地区部会が主体となり、外出支援プロジェクトと連携した活動を目指します。

次に、3ページ 事業番号10 高洲・高浜地区部会エリアです。

こちらも取組項目(3)“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築、取組内容として【孤立死ゼロに向けた取組の推進】でございますが、昨年度に引き続き、関係者が集まる会議等において孤立死ゼロに向けた情報提供を行うとともに、今年度10月に、高洲第二団地UR跡地に、コンビニ併設の在宅介護医療事業(介護相談及び交流スペース)が開設されます。開設に伴い、地域の関係団体(高洲・高浜地区部会、609地区民児協、あんしんケアセンター高洲、在宅介護医療事業運営会社、私どもの生活支援コーディネーター)による関係者会議を行い、シニア層やその家族への支援及び超高齢化社会の地域ニーズに対応した事業展開を目指します。

また、資料内にはございませんが、高浜五丁目自治会活動として、「支え合い活動」の発足に向けた説明会を予定しております。

次に、4ページ 事業番号16 真砂地区部会エリアです。

取組項目(10)地域での助け合い活動の推進、取組内容として【“ささえあいまさご”への支援強化】でございますが、昨年度の活動も約800件を超え、平成25年度の発足当初150件の5.3倍となり真砂地区では必要不可欠な活動となっており、今後の安定した活動を継続するため、今年度は登録している協力員の増員はもとより、協力員のスキルの継続と充実を目的とした研修の実施と円滑な運営を図るため実行委員会組織の強化を図ることとしています。

次に、6ページ 事業番号25 打瀬地区部会エリアです。

取組項目(18)要支援・要介護高齢者等のケア体制の整備、取組内容として【認知症高齢者等に対する支援体制の推進】でございますが、今年度より「ベイトウンかふえ(認知症カフェ)」の活動が、打瀬地区部会から『うたせ認知症を考える会』が行うこととなり、地区部会の認知症福祉委員会として“認知症の家族の会”「そよかぜの会」を立ち上げることとなりました。同委員会では、認知症への理解促進・認知症予防及び進行抑制の実践支援・家族の支援の3つの視点を柱として活動を予定しています。

次に、7ページ 事業番号30 幕張西地区部会エリアです。

取組項目(22)ボランティア人材の育成 取組内容として【ボランティア・福祉教育に関する講座開催】でございますが、昨年度の生活支援コーディネーターの引継ぎの事業でございますが、幕張西地区(コロンブスシティ自治会)「エンディングノートを書く会」の立ち上げでございます。自治会及び住民の協力により40代から50代の現役世代の住民を対象とし、自身の将来や地域の課題に関心を持ってもらい、将来の地域福祉活動の担い手に繋げるよう講座の開催を検討しています。

そして最後に、各地区部会エリアでの取組みとは異なりますが、別紙の「千葉市ボ

ランティア連絡協議会2019年度加盟グループ」をご覧ください。

千葉市ボランティア連絡協議会は、千葉市ボランティアセンターに登録している203グループのうち94グループが加盟し、加盟グループ間の交流や啓発事業の運営、研修等を企画し、ボランティア活動を推進しております。

また、毎年、千葉市ハーモニープラザで開催している、サマーフェスタと共催で「ボランティアひろば」を行い、各ボランティアグループのステージ発表やパネル展示による活動紹介、活動体験を行うなど、ボランティア活動への参加の呼び掛けを行うとともに、グループによっては、小中学校での福祉教育の協力や地域の行事など様々な機会を活用し、新たな担い手の育成や発掘を図っております。

以上が、抜粋となりましたが、「第4期美浜区支えあいのまち推進計画」、地区部会エリアごとの取組項目における、実施状況の説明となります。

今後、ご提出いただきました管理票をもとに、それぞれ地区部会エリアごとに進行管理において連携を密に図りたいと思います。

私からの説明は以上となります。

○池田副委員長　ただいま、「第4期計画」の実施状況を踏まえ、内容の見直しについて、事務局から説明がありました。

何かご意見、ご質問等がありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。

なお、発言される場合は、最初に所属とお名前をおっしゃってくださいますよう、よろしくをお願いします。

○半田委員　千葉市ボランティア連絡協議会の半田と申します。先ほど吉田所長さんの方からボランティア連絡協議会の話がありましたので、連絡協議会のことを少しお話しさせていただきます。94のボランティアグループが加盟してしまして、もし興味がお有りでしたら参加していただけたらと思います。

○池田副委員長　たくさんのグループがありますので、皆様是非この機会に参加をよろしく願いいたします。

他に何かございませんでしょうか。

それぞれの地区で、随時、この時代に合わせて皆様頑張っていらっしゃいますが、ご自分の地区でこうしたいとか、これはどうなのかということがありましたら、お願いいたします。

無いようでしたら、「第4期計画」は、この内容で推進していくということよろしいでしょうか。

< 異議なし >

○池田副委員長　それでは、次に進めさせていただきます。

事例紹介「地域活動団体の取組み」ですが、本日は「稲三サポートの会」の代表の深谷様と事務局長の山本様にお越しいただいております。「稲三サポートの会」の活動についてご説明いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

< 事例報告「稲三サポートの会の活動」(パワーポイントによる説明) >

- 池田副委員長　ただいま「稲三サポートの会」の活動についてご報告いただきました。いかがだったでしょうか。活動を通して、きめ細やかに高齢者への支援をしていると思います。高齢者に優しい街づくりは子供たちにとっても良い街づくりだと思います。皆さん、何かご質問等がありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。
- 金澤委員　身体障害者連合会の金澤と申します。マンションのアルミサッシの取換え工事の支援についてですが、かなりの資金が掛かるとは思いますが、1戸当たりの費用はどれくらいなのか、教えていただきたいと思ひます。
- 稲三サポートの会　アルミサッシの交換には約6億円掛かっています。約800戸ですから、1戸当たり約70万円。共用部分ですので、管理組合の修繕積立金で賄おうとしましたが、足りませんでした。足りない分は、住宅金融公庫から6億円を8年で返済するという契約で借りました。
- 金澤委員　6億円を8年で返すに当たり、1戸当たりいくらか負担したのでしょうか。
- 稲三サポートの会　各戸の負担はゼロです。借りた6億円は修繕積立金で返してきました。所有者から一時金を集めたということではありません。
- 金澤委員　分かりました。ありがとうございます。
- 稲三サポートの会　補足をしますと、アルミサッシのガラスはペアガラス、合わせて玄関扉を新しくし、外壁塗装工事等も行いましたので、6億円の借入れをしました。毎年の修繕積立金が1億円程度ですので、その中で返済をしているということです。
- 金澤委員　ありがとうございました。
- 田中委員　民生委員の田中といいます。4点ほど伺いたいです。1点目は、会の規約はあるのでしょうか。2点目は、サポートをする人の平均年齢。3点目は、無償でボランティアをされているのか。4点目は、活動をする中でいろいろとトラブルがあると思ひますが、事例を教えてくださいたいと思ひます。
- 稲三サポートの会　こういう活動する会という内容を規約にして、利用者だけでなく、居住者全員に配っています。

サポーターは40代から80代であり、平均年齢は70歳近くではないかと思ひます。

それから、トラブルといったものではないですが、ゴミ出しの日に玄関前にゴミが出ていない。呼び鈴を押しても出てこないといったことがあります。そういった時にどこまでやるのかというのが悩みです。また、利用者ではないのですが、自宅で具合が悪くなって救急車を呼んだものの、隊員が到着しても玄関まで行けず、止むを得ずガラスを割って家に入ったということがありました。こういうケースは今後もあると思ひますので、利用者になっていただく際には、市の緊急通報システムを利用してALSOKにカギを預けているかとか、緊急連絡先を書いてもらい、連絡先の人にカギを預けているのかを確認し、対応していくことが必要ではないかと思ひます。

それから報酬ですが、2つに分かれますが、ゴミ出しの場合は50円の利用料金をすべてサポーターに渡します。介護度が要支援の方は、市からの補助金がありますので

で、それを運営費に充てていますが、要支援でない人は50円のみとなります。それ以外の活動は、1時間500円の利用料金となりますが、8割をサポート者に渡し、2割を運営費に充てています。ボランティアなのでなぜ料金を取るのかという声が上がりましたが、私は「ボランティアだから全く報酬がゼロ」ということでは長続きはしないと思います。

○池田副委員長 よろしいでしょうか。他に何かございますか。

○金澤委員 もう一つよろしいでしょうか。病院への付き添いですが、多い方は数種類の病院に通われていると思いますが、500円の中から抽出するのか、あるいは個別に別の対応をされているのか伺います。

○稲三サポートの会 3つの病院に通って7時間かかったことがございましたが、1時間につき500円ですので3,500円で請け負いました。近くの病院の場合は車椅子で対応しましたが、遠方の場合にはタクシーを使用してもらっています。

私どもは専用の車がありませんし、マイカーに乗せて事故を起こしたときに誰がどうという責任を負うのかという問題がありますので、マイカーは一切使わないことしております。

なお、例えばサポート者が電球の交換の作業中に脚立から落ちてケガをしたり、利用者のお宅の大切な物を壊したりした場合に備えて保険に入っていますが、保険料は年間約10,000円です。

○金澤委員 ありがとうございます。

○池田副委員長 もう少しお話をお聞きしたいところですが、時間の関係で終わらせていただきますが、分からないことがありましたら、稲三サポートの会の事務局にお問い合わせいただきたいと思います。深谷様、山本様、ありがとうございます。

それでは、次に進めさせていただきます。報告の(1)「美浜区地域活性化支援事業」について説明をお願いします。

○事務局(美浜区地域振興課地域づくり支援室主査 濱田) 美浜区地域振興課地域づくり支援室の濱田と申します。

それでは地域活性化支援事業について説明させていただきます。

A4・1枚もの、資料3をご覧ください。

事業概要としては、地域課題の解決や地域の活性化など、町内自治会やボランティア団体の皆様が、区内で主体的に行う活動に対して活動資金などを支援するものです。

支援対象者としては、区内で活動するボランティア団体、NPO、町内自治会、商店街、サークルなどで、すでに1年以上継続して活動している団体もしくは今後1年以上継続して活動が見込まれる団体となっています。

支援メニューは、資料記載のとおり、地域づくり活動支援として年間上限20万円までの支援と新たに活動拠点を確保する場合の地域拠点支援の2種類があります。

近年の支援傾向としては、平成25年事業開始時から平成29年度まで、活動支援全体件数も地域福祉活動の支援団体支援数も減少傾向でしたが、平成30年度からの募集に際し、各種会議で積極的に働きかけた他、今年度は追加募集を行ったことにより、過去最高の15件の応募がありました。

続いて資料裏面になります。

令和元年度に支援する地域福祉団体は全部で8団体。高齢福祉関係は全部で5団体です。うち、2団体が継続団体で、3団体が新規支援団体です。子育て支援関係は3団体です。うち、2団体が継続団体で、1団体は新規支援団体となっています。

それでは各団体の取り組みをご紹介します。

高齢福祉団体の1つ目は「稲三サポートの会」。稲毛海岸三丁目団地において、高齢者や身体の不自由な方を対象に日常生活での支援（ゴミ出し・買い物・簡単な掃除等）を常時行い、誰もが安心して暮らせるようなコミュニティ形成をサポートする活動をしています。

次は「傾聴ボランティアみはま」。真砂地区の65歳以上高齢者を対象に、簡単な体操や脳トレを含む知的活動等を真砂CCで開催しています。また、会に参加する高齢者の親睦を深める食事会やお茶会を毎月開催し、傾聴活動を行っています。

次は「いきいき卓球なぎさ」。運動初心者も含めて誰でも活動に参加できるよう門戸を広げ、「ピンポン感覚」で卓球を楽しんでもらいながら、地域コミュニティを醸成し、元気な高齢者による地域活性化を目指しています。また、磯辺小学校の放課後教室「いそっ子キャンパス」と協力し、地域の小学生と高齢者の多世代間交流も行っています。

次は「特定非営利活動法人幕総クラブ」。特定非営利活動法人幕総クラブの活動地域は多くの人が集まれる恵まれた立地条件であることから、既存のスポーツ施設も十分に活用しながら地域住民のスポーツ環境の充実と地域資源の有効活用を目的とし各種スポーツ教室事業を行っています。

次は「真砂五月会自治会」。真砂五月会自治会では、かつて老人会や子ども会が担っていた地域における顔の見えるコミュニティづくりの再興を図るべく、地域コミュニティの振興、高齢者の引きこもり対策、子どもの居場所づくりを目的に毎週土曜日に自治会館で喫茶室を開きます。また、来館者に提供する菓子等は近隣にある高等特別支援学校の生徒が作ったものを使用し、地域と学校の連携も行います。

続いて子育て支援団体の取り組みです。

一つ目は「UCHI」。打瀬地区で子どもが“ふらっと”立ち寄れる居場所づくりとして、月1回の読み聞かせイベントや、週4日程度の子供向け駄菓子店を運営し、子どもの見守りや学校以外の居場所づくりを行っています。

次は「敬愛大学教育ボランティアサークル Iris」。毎月1回、高浜地区にあるアートコミュニティセンタービッグAで、理科実験や季節に合った作品づくり等のイベントを企画・運営しています。また、イオン検見川浜店とも連携し、地域の高齢者と子どもを繋ぐイベントも月1回実施しています。

次は「NPO法人幕張西スポーツクラブ」。核家族化やライフスタイルの変化により親子関係が希薄になっている昨今、スポーツを通じた親子の絆を深める活動を行っています。また、幼少期からスポーツを経験することにより、将来的には生涯スポーツへと繋げ、地域住民の健康増進を図る活動を行っています。

以上が、令和元年度の美浜区地域活性化支援を受けた地域福祉活動を行う8団体の概要となります。



今後、区では本年度支援を受けた各団体の活動状況を確認し、各団体が継続した活動が行えるようフォローアップ研修などを通じて支援して参ります。

また、来年になります。本日紹介した団体がそれぞれの活動内容を発表する「まちづくり活動報告会」を開催いたしますので、ぜひ、ご参加頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に委員の皆様にも、新しく地域福祉活動を始めたいなどのご相談を受けた時には、地域振興課で実施している地域活性化支援事業をご案内いただければ対応いたします。

参考までに令和2年度分申請の大まかなスケジュールとしては、来年1月～2月上旬までを募集期間として、3月上旬に申請団体による公開プレゼンを実施し、3月末までに支援団体を決定する予定となっております。

以上、美浜区地域活性化支援事業についてのご報告を終了いたします。

○池田副委員長　ただいま「美浜区地域活性化支援事業」について、事務局から説明がありました。

このことにつきまして何かご質問等がありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。

よろしいですか。無いようでしたら、報告の(2)「美浜区見守りネットワーク」について説明をお願いします。

○事務局(美浜区地域振興課暮らし安心室長 工藤)　美浜区地域振興課暮らし安心室の工藤と申します。

「美浜区見守りネットワーク」についての資料4をご覧くださいませでしょうか。

孤独死防止通報制度(美浜区見守りネットワーク)につきましては何回かご説明しておりますので詳細は省略しますが、ライフライン事業者、例えば新聞配達店から“新聞が溜まっていて様子がおかしい高齢者宅がある”と区役所に通報いただきましたら、私どもが地域の皆様、自治会や民生委員の方々にご連絡しまして安否確認をしていたくという制度でございます。

資料の裏側を見てくださいますと、本年度は今のところ9件の通報がございました。昨年度は1年間で18件、本年度は4か月で9件ですので、昨年度よりは多くなると予想しております。おとしは11件だったかと思っておりますので、年々増えていく傾向にあります。

通報をいただいて私どもがどう対応しているかということをご説明いたしますが、まず「安心カード」に記載しているお子さんやご兄弟の連絡先を確認し、連絡し、「入院している」ということであれば、それで対応は終わります。「安心カード」がない場合は、民生委員さんや町内自治会長さんにご連絡をし、それで状況がわかる場合があります。わからない場合は、マンションの管理会社やURに連絡し、大体の場合、それで状況がわかることが多いです。われわれも現地に行って対応することもあります。

資料を見てくださいますと、今年度の対応の結果ですが、「無事」がほとんどです。「安心カード」を持っているのは3件です。

皆様にご協力をいただいておりますので、今後もよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○池田副委員長　　ただいま「美浜区見守りネットワーク」について、事務局から説明がありました。何かご質問等がありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。

いかがでしょうか。

安心カードに記載されている連絡先は、救急の際は消防にも連絡しますよね。

○事務局（美浜区地域振興課くらし安心室長 工藤）　　します。ただ、安心カードを持っていても、冷蔵庫に貼ってあり、複写の紙の方が我々の手元に届いていないケースが結構あります。

○池田副委員長　　他に何かありますか。無いようでしたら、報告の（3）「生活支援コーディネーター」について説明をお願いします。

○事務局（社会福祉協議会美浜区事務所長 吉田）　　私の方から説明させていただきます。資料5と今お配りしています「千葉市の生活支援サイト 開設のご案内」をご覧ください。

まず、資料5ですが、平成31年4月1日から私ども千葉市社会福祉協議会が、千葉市から「千葉市生活支援コーディネーター設置業務」を受託することになりました。コーディネーターには、4月から美浜区事務所に着任の山崎主任主事と勝山副所長が担当いたします。本日は、両名とも業務の関係で欠席しておりますが、よろしくお願いいたします。

昨年度まで、NPOアイアイの岩橋さんと千田さんが生活支援コーディネーターをやっていたておりましたが、まだまだ前任には追いついていない状況です。

今年度は、稲毛区・若葉区・緑区・美浜区の4区の業務を社協が受託をさせていただきますが、以前から生活支援コーディネートを請け負っている緑区の事業内容を参考にしながら、地域の活動を支援していきたいと思っております。

【生活支援コーディネーターとは】という部分に「地域の支え合い活動の調査」や「ボランティアの育成」「サービス提供団体同士の連携」等が記載されていますが、我々は「地域の課題をどう解決していくのか」ということをまず考え、地域の声を聞きながら生活支援コーディネートをしていきたいと考えております。

もう一枚の資料の「千葉市の生活支援サイト」をご覧くださいと思います。5月から7月にかけて、各地域で「交流の場・集いの場」「高齢者の身近な相談窓口」「外出支援」「家事援助」「見守り・安否確認」「日用品・食材・弁当の宅配サービス」の6項目の活動を行っている団体を訪問や電話で調査しました。全212件のうち、情報を公開して構わないという団体152件の情報を「千葉市の生活支援サイト」に掲載しました。必要な情報を検索することができますが、高齢者にはインターネットでの検索は難しいと思います。ですので、社協美浜区事務所としては「こういう情報がほしい」という高齢者や地域の方の電話連絡に即座に対応できる態勢を整え、調整をしていきたいと思っておりますので、もしそういう地域住民の声がありましたら、電話をいただきたいと思っております。

また、各活動団体との連携や、高齢者であれば4つのあんしんケアセンターと綿密な連携を取っていきたいと考えておりますので、生活支援コーディネーターの活動にご協力をいただきたいと思いますし、要望がございましたら改善していききたいと思いますので、よろしくお願いします。

私からの報告は以上でございます。

- 池田副委員長　ただいま「生活支援コーディネーター」について、事務局から説明がありました。何かご質問等はありませんでしょうか。
- 小谷委員　「生活支援コーディネーター」の千葉市の所管部署は地域福祉課ですか。
- 事務局（社会福祉協議会美浜区事務所長　吉田）　地域包括ケア推進課になります。
- 小谷委員　【生活支援コーディネーターとは】のところに、生活支援コーディネーターの説明が4行書いてありますが、非常に分かりにくい。読めば読むほどよく分からない。改めて社協美浜区事務所に行きますから、吉田所長から説明してもらいたい。それが1点。もう一つは、生活支援コーディネーターとあんしんケアセンターの関係がどうなのかも、ファジーなところがあって分からないので、それも説明していただきたい。
- 事務局（社会福祉協議会美浜区事務所長　吉田）　今小谷委員からお話をいただきましたが、配付しました資料は、市の所管課である地域包括ケア推進課の示した資料でございます。あんしんケアセンターとの関係ですが、4月から「あんしんケアセンター運営会議」に参加させていただき、あんしんケアセンターの活動状況と我々の活動がどう連携できるかということで、情報共有など今後の対応についての検討を予定しているところです。
- 小谷委員　千葉市の文章は、大体は読みやすいものになっているが、この文章だけは分からない。地域包括ケア推進課の職員が書いたと思いますが、この4行は分かりにくいので、噛み砕いて説明していただきたい。お願いします。
- 事務局（社会福祉協議会美浜区事務所長　吉田）　私の方も業務内容を理解して、箇条書き等分かりやすい形にして、皆さんにご説明したいと思いますので、よろしくお願いします。
- 池田副委員長　他に何かありますか。無いようでしたら、本日の議事は以上ですが、他に何かありますか。事務局、いかがですか。
- 事務局（美浜保健福祉センター所長　齋藤）　ありません。
- 池田副委員長　無いようでしたら、これからの進行は、事務局にお返しいたします。
- 事務局（高齢障害支援課課長補佐　山田）　池田副委員長、ありがとうございました。本日の会議録は、事務局が作成し、委員長、副委員長にご確認いただきました後、千葉市のホームページで公開いたします。

なお、次回の会議の開催時期は、来年3月を予定しております。皆様には、日時が決まり次第、ご連絡申し上げます。

これをもちまして、「令和元年度第1回美浜区支え合いのまち推進協議会」を終了させていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。

以上